

13期 関西ぶらり散策

～山の辺の道をおく～

11月5日(水)

担当1班

歴史とロマンがつまった日本最古の道「山の辺の道」。奈良と桜井市を結び大神神社や石上神宮などの古社寺、古墳、万葉集に詠まれた地名が点在している。

JR三輪駅
スタート



箸墓古墳



以前、太鼓橋の下を電車が通っていた。基礎のレンガだけが残っている。



大神神社(おおみわ)
二の鳥居



夫婦岩



拝殿に向かう参道は昔の地震によって段差ができた。



拝殿

三輪山をご神体とし、拝殿の奥にある三つの鳥居を通し三輪山を拝する形になっている。



酒祭りの日に新しい杉玉に代わる。





巳の神杉

大物主大神
の化身とされ
る白蛇がすむ
ご神木。



くすり道

薬草や薬木
が植えられて
いる。

狭井神社



薬井戸

万病に効くという薬水が湧き出る井戸。

三島由紀夫の碑



細い道を歩いて
檜原神社へ。



檜原神社
神社から見る
大和三山と夕
日が美しい。

階段や急な坂などありましたが、皆さん元気に散策されました。無人販売所が何か所もあり、買い物も楽しまれていました。

午後に希望者のみでしたが、天皇陵などの散策にガイドさんが引き続き案内してくださいました。ありがとうございました。